

「CCOTの実践報告」に関する研究

1. 研究の対象

2023年4月1日～2025年3月31日までに当院に入院された方

2. 研究目的・方法

研究目的：従来のRST (Respiratory Care Support Team) 活動に加え、電子カルテのDWH (Data Ware House) 機能を用いて呼吸促拍患者を事前に把握した上でのCCOT (Critical Care Outreach Team) 活動を報告する。

方法：後ろ向き調査研究

概要：当院は地域の中核病院であり、入院患者は高齢の慢性心不全、誤嚥性肺炎や緩和ケアを必要とするがん・非がん患者で、その特徴は「呼吸ケアは必要だが侵襲的人工呼吸器は使用していない」ことが多く、RST以外の介入方法を模索してきた。

この数年で院内急変対応報告数は増加傾向である。2023年度よりRSTメンバーによるCCOTを開始した。各部署の看護師が懸念する患者（疼痛管理是正、苦痛要緩和、離床難渋など）を抽出し、共にアセスメントやケア計画立案を図った。必要時はRSTの医師、臨床工学技士に対応を依頼した。RST・CCOTのラウンド患者数は2023年度45件／年から2024年度4月～5月で71件に増加している。CCOT対応患者の早期警告スコア (NEWS) は60件 (2024年4月～5月71件中) が「リスクあり」で、介入を必要としない患者はいなかった。その中で、急変報告例に対するROSC、軽快した事例の割合は2022年度の57% (20件/35件) から2023年度の66% (36/54件) に上昇傾向である。

9月より電子カルテのDWH機能を用いて呼吸促拍患者を事前に抽出した上でCCOTを実践した。介入状況を院内急変報告数等と合わせて報告する。

研究期間：2023年4月1日～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

「住所」神奈川県川崎市中原区井田 2-27-1

「電話」 044 - 766 - 2188 (内線 3360)

「担当者の所属・氏名」 看護部 HCU・CCU 病棟・吉田龍也

研究責任者：看護部・吉田龍也